【生活・安全・環境分科会】審議経過

3月31日 第2回分科会

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
1-1	めざす姿	市民の「安心」といった視点も含めたほうが良い。	意見を踏まえ、記載内容を修正しました。
1-1	現況と課題	「不適切事案」という表現は、立地自治体としてこの表現でいいのか再検討した方が良い。いろいろな立場の人がいる。	意見を踏まえ、記載内容を修正しました。
1-2	施策の方向性	【防災体制の強化】 ・情報ツールを「活用し」とあるが、その前の段階として、市民に認知してもらうことも必要と考える。	意見を踏まえ、記載内容を修正しました。
1-2	施策の方向性	【地域防災力の充実】 ・「自主防災組織の活動活発化」とあるが、現状、防災士の活躍の場が少ない。また、行政と民間・地域の連携や役割分担が不十分と感じている。	意見を踏まえ、記載内容を修正しました。
1-3	めざす姿	「自然災害に備えた対策を」といったあたりは、行政としての姿だが、併せて「市民」の協力を得ながらといったあたりの記載もいれてはどうか。	例として示されたLINEでの通報の取組を1-7で追記することとしました。「自然災害に備えた対策」は、行政主体で取り組んでいくものと考えています。計画の記載は、このままの表現としたい。
1-3	現況と課題	LINEでの市民による道路損傷等の通報の取組があるが、記載をした方が良い。	意見を踏まえ、1-7で記載を追加しました。
1-3	施策の方向性	【道路防災対策の推進】 ・LINEでの市民による道路損傷等の通報の取組があるが、記載をした方が良い。	意見を踏まえ、1-7で記載を追加しました。

1-4	現況と課題	「高齢者や学生を始めとした」とあるが、交通事業者としては、広く市民の皆様の移動手段であり、記載を検討いただきたい。	意見を踏まえ、記載内容を修正しました。
1-4	現況と課題	減便や廃線に「歯止めがかからない状況」とあるが、現状に掲げている状況により、「余儀なくされている」という方が良い。	意見を踏まえ、記載内容を修正しました。
1-4	現況と課題	運転士が不足している状態とあるが、何に対して不足しているか補足した方が良い。	意見を踏まえ、記載内容を修正しました。
1-4	施策の方向性	【地域における生活交通の確保】 ・運転不足対策は誰が行うものか？	意見を踏まえ、記載内容を修正しました。
1-5	施策の方向性	【地域での犯罪未然防止対策の推進】 ・災害時における犯罪についての記載も必要ではないか。	「災害時」という特別な状況を想定し、準備することは重要です。総合計画では、それも踏まえつつ、平時から、地域での犯罪未然防止対策を進めていくことを目指します。計画の記載は、このままの表現としたい。
1-6	施策の方向性	【中心市街地の活性化】 ・中心市街地の魅力向上とある。大きな目標ではあるが、スーパーの撤退によって、買物環境が切実な課題であると思うが、記載しないのか。	買物環境については、産業・エネルギー分野の主要施策である「魅力ある商業の振興」において方向性などを記載していきたいと考えております。こちらでは、大きな方向性として「中心市街地の魅力向上」とし、記載は、このままの表現としたい。
1-7	施策の方向性	【冬季間における道路交通網の安全確保】 ・除雪オペレーターの育成の記載があるが、第五次からあったか、新たなものであれば、分かるようにしてはどうか。	除雪オペレーター育成に係る補助は、令和2年度から実施しており、今後も継続していくものです。計画の記載は、このままの表現としたい。
1-9	施策の方向性	【プラスチックをはじめとした資源循環の推進】 ・回収方法を整理しますとあるが、その先は？	意見を踏まえ、記載内容を修正しました。

※その他各課修正箇所

主要施策番号	修正箇所	内容
1-1	現状と課題及び主要施策の方向性	記載を一部修正しました。

4月22日 第3回分科会

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
1-1	目標指標	【原子力防災対策に関する研修会等での理解度】 現状の理解度と、どの程度理解しているかの指標が不明であるが、令和8年度65%という目標値は低いのではないか。	目標指標を、「6割以上理解した人の割合」に変更した。理解度の把握はR6年度から5段階アンケートにより試行実施している。R7年度からは理解度を確認する内容を数値化し理解度を把握していきたい。R8年度の目標値は、6割以上理解した人の割合を当初のとおりの65%と設定し、繰り返し講座・研修を実施する中で数値を高めていきたい。
1-2	目標指標	【人口千人当たりの消防団員数】 学生や女性の消防団員数に対し、具体的な指標を設定してはどうか。	全国的に消防団員確保が課題となっている中で、地域防災力の維持という視点での指標である。引き続き団員確保を優先しながら、学生や女性の活動環境の整備について取り組むこととして、新たな指標設定は行わないこととした。
1-3	目標指標	【森林経営管理事業の整備率】 事業の整備率という指標の具体的な内容について説明を求める。	間伐など整備がなされない人工林の管理を市が受託して間伐を行う事業を指標とした。放置森林は土砂災害を誘発することから適切な管理をするための事業。5次総後期は高柳地区を限定したが、今回は全市域11地区に拡大した。
	目標指標	【民間住宅の耐震化率】 空家を母数の対象としないことから、空家の割合が増加した場合、自然と増加する指標となっているということではないか。	お見込みのとおりの、空き家の増加を加味した指標となっている。

1-4	現況と課題	減便や廃線が続いている原因として、利用者が減少したことによる、交通事業者の収支悪化がある点の記載を検討いただきたい。	路線バスの減便や廃線が続いている原因は、本市特有の原因によるものではなく全国的な傾向であり、特定の事業者の収支悪化によるものではないことから、記載内容は前回修正したとおりとしたい。
	現況と課題	「本市においても例外ではなく、減便や廃線が続いています」とあるが、交通事業者に責任があるわけではなく、「余儀なくされている」という表現を追加いただきたい。	路線バスの減便や廃線が続いている原因は、本市特有の原因によるものではなく全国的な傾向であり、特定の事業者に起因するものでないことから、記載内容は前回修正したとおりとしたい。
	施策の方向性	【地域における生活交通の確保】 運転士不足対策の具体的な取組として、財政支援を行うという記載を検討いただきたい。	地域における生活交通の確保に向け、市と交通事業者が連携して施策を進める方向性を示しているものであり、施策の中には財政支援が含まれていることから、記載内容は変更しないこととしたい。
1-6	目標指標	【中心市街地の活性化】 目標指標の設定が必要ではないか。	指標に該当する事業の取組がR10以降であり、現時点では根拠とする設定値、検証方法などの決定が不可能であるため、指標として示さないこととしたい。
1-8	目標指標	【環境基準の達成率】 実際の達成度が把握できる他の目標指標はないか。 環境基準の評価項目として、定期的に観測していない振動は除外した方がよいのではないか。	環境基準達成率は基準値内に収まっている割合であり、法令等に基づいた測定、監視結果である。また、本市では、環境基準達成率100%を維持継続できている状況であることから、今回の目標指標として示さないこととしたい。

※その他各課修正箇所

主要施策番号	修正箇所	内 容
1-5	現況と課題	1行目 「減少にある」を「減少傾向にある」に修正 下から6行目「令和6（2024）年は、…でした。」を削る。
	目標指標	3つの目標指標に、（年）、（年度）などを追記
1-6	めざす姿	2行目 「安心・安全」を「安全・安心」に修正

1-7	現況と課題	下から5行目 「除雪体制の維持を構築する」を「除雪体制を維持する」に修正
1-9	現況と課題	下から2行目 「循環型社会の形成に寄与する機能が求められています」を「その結果として循環型社会の形成に寄与することが求められています」に修正

5月26日 第4回分科会

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応欄
1-2	SDGs	目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）が挙げられているが、どのような趣旨か。	「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の項目については、グローバルなパートナーシップだけでなく、官民や市民社会のパートナーシップも含まれていることから掲載しているものです。
1-6	めざす姿	「市民が安全・安心で」という表現に違和感がある。	「市民が安全・安心で快適に暮らしています」を「市民が快適に暮らしています」に変更しました。
1-7	めざす姿	「市民が安全・安心で」という表現に違和感がある。	「市民が安全・安心で快適に暮らしています」を「市民の安全で快適な暮らしが確保されています」に変更しました。

【産業・エネルギー分科会】審議経過

3月28日 第2回分科会

主要施策番号	検討箇所	委員意見
2-1	施策の方向性	【人材確保の取組】 「地元定着」といった視点から、柏崎に残っている人、戻ってくる人への特典（記念品や飲食店でサービス、空き家の安価で斡旋や修繕費用の補助）が具体的施策として考えられる。
	施策の方向性	【働きやすい職場環境づくりの推進】 会社の制度構築への支援があるとよい。コンサル又はコンサル利用の補助など。
2-2	施策の方向性	【設備投資と販路拡大の促進】 DXについては進んでいる企業がある一方でPCが社員全員に行き渡っていないところもある。ジャンプアップ前段階での支援もお願いしたい。
2-3	施策の方向性	【企業立地の推進】 記載内容を見ると工場が誘致対象のように見受けられるが、本社機能や研究所を誘致対象に含むならば、「研究開発費」や「人件費」も助成する対象にした方がよい。
2-4	施策の方向性	【商業界の活性化】 ・プレミアム商品券事業やバル街などのイベントを通じて魅力を高める足がかりにしてはどうか。 ・収穫祭など多くの方が訪れている。時期をおいて回数を増やすことも検討してはどうか。
2-5	施策の方向性	【担い手の確保・育成の推進】 農業への入り口のハードルを下げるために例えばポータルサイトの立ち上げなどはどうか。
2-6	施策の方向性	【林業・水産業の流通拡大】 地元産材の利用への補助があるとよい。
2-7	施策の方向性	【地域が一体となった戦略的観光誘客の推進】 ・パワースポット、ドラマの撮影地など何かきっかけになるシチュエーションを作れるとよい。 ・飲食店関係のSNSでの情報発信及び情報発信支援があるとよい。 ・綾子舞を観光誘客に結びつけることはできないか。
2-8	施策の方向性	【市内産業界への脱炭素エネルギー利活用の推進】 ・地産地消のエネルギー循環の取組は、全国的に珍しい取組である。広くPRしていくことで全国のトップランナーになりうる。 ・公共交通機関の燃料を再エネが使えるとよい。 ・例えば、「脱炭素100%企業」のロゴを作るなど産業界との連携を図ることもアイデア。

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
2-1	目標指標	【市内2大学…就職率】 市内2大学に限らず、市内企業の大卒採用者数としてはどうか。人材確保を進める施策につながると考える。	大学生の新卒求人は、必ずしもハローワークを通さなくてもよく、管内全体の充足率を把握することができない。 「住民自治・行財政」5-4との関連も考え、現状のままとする。
2-1	目標指標	【市内高等学校…就職率】 現在の割合の指標で現状維持だと、就職者が減少することとなる。割合ではなく人数とし、雇用促進してほしい。	学生数の減少に加え、進学希望者が増加している現状を踏まえると、実数を目標指標とすることは難しい。就職希望の高校生が柏崎の企業に就職（地元定着）することが施策の目標のため、現状の目標指標とする。
2-1	目標指標	【男性の育児…交付件数】 目標値が現状値より減少しているが、維持又は増加する目標を掲げて取組を進める姿勢を示してはどうか。	男性育休の取得率の国の2030年の目標が85%に対し、市が実施したR6（2024）年度の「男女共同参画に関する事業所調査」では、柏崎市の育休取得率は60.2%であった。男性育休が浸透してきていると考えるが、中小企業等へさらなる促進を行うため、増加とした。
2-1	目標指標の追加	主要施策の方向性で「人材確保の取組」としてあるので、情報発信を行う事業所数あたりは指標としてはどうか。	情報発信を行う事業所数の把握は難しい。採用活支援補助金の件数ではアウトカム指標とならない。
2-1	目標指標の追加	主要施策の方向性で「多様な人材の就労支援」としてあるので、障がいのある方や高齢者の就労に関する指標はどうか。例えば障がい者雇用の充足率やU・Iターン就職者数。	ハローワークが公表している「障害者雇用率算定対象企業の雇用率達成企業数」を目標指標に追加した。
2-2	目標指標	【製造品出荷額】【付加価値額】 国の目標値下限に合わせる値でよいか。	事業内容や導入する設備などによって、企業毎に成長度合いは異なるため、製造業全体の平均的な目標値として3%は適切と考える。
2-2	目標指標	【検定合格者数】 累計値か単年度の数値かわかるようにするとよい。	累計値であることを明記する。
2-3	施策の方向性	【企業立地の推進】 企業立地を推進するための助成内容が具体的に記載されているが、多様な業種にアプローチを予定するのであれば、具体的な記載はないほうがよい。	電源立地地域に関する助成制度の具体的な記載を削除した。

2-3	目標指標	【企業立地する事業者数】 ・単年ごとの目標設定でよいか ・「助成金申請した事業者」では、創業までにタイムラグが生じないか	指標名を「新たに柏崎市へ企業立地する事業者」から「新たに柏崎市で創業する事業者数（R6年度からの累計）」に修正し、年度目標を累計値に修正する。 市の企業立地促進助成は、事業を開始している企業であることが交付要件となっている。
2-3	目標指標の追加	立地事業者による新たな雇用者数も「雇用の場の創出」をめざすならば、追加してはどうか。	少子化・人口減少の現実を見据え、雇用者数の増加を目指す設定はしない。 企業立地を推進することで、職業選択の幅を広げ、雇用の場の創出を目的としている。
2-4	施策の方向性	【商業界の活性化】 「新たな需要創出や…支援します」とあるが、少し具体例を示してはどうか。	「新商品開発等」を追加し、文章をまとめた。
2-4	目標指標	【需要創出…支援事業所数】 アウトカム（成果）指標ではない。他の指標はないか。	事業所数を支援件数とする。新たな需要創出や販路拡大に取り組む事業者の後押しをすることで、商業界の活性化につなげる。 （他の指標について、経済センサスは5年ごと、消費動向調査（市実施）は3年ごとであり、毎年度の目標指標となりうる数値を市として把握していない。）
2-4	目標指標の追加	現況と課題にある「地元購買率」は指標となりうるか。	市で消費動向調査を実施しており、地元購買率も算出しているが、3年に1度のため毎年度の目標指標とはならない。
2-5	施策の方向性	【担い手確保・育成の推進】 シルバー人材センターなどシニア世代の活用はどうか。	シニア世代も貴重な担い手と認識しているが、企業の定年延長が影響し、人材が回らない状況も生じている。幅広い視野で他分野からの登用、例えば農業×福祉の連携強化も考慮していきたい。
2-5	目標指標	【米山プリンセス】【葉月みのり】 「儲かる農業」を目指すのであれば、いずれも出荷額、単価を指標とできないか。	出荷額、単価は市場の需給により変動が大きく、米生産の実態を把握するには、出荷量が適している。 米山プリンセスは柏崎地区の旗艦米であり、米山プリンセスの米作りが、柏崎地区の「おいしい米づくり」に繋がっている。「儲かる農業」には、米山プリンセスのブランド力向上が求められるが、十分な収量が得られていないことが課題である。収量を増やすため、現在5経営体程度の認証者数を増やすことを指標としたい。 極早生米の葉月みどりは、新潟県産でいち早く市場に届く優位性があり、コシヒカリが市場に出るまでの端境期を埋める存在として期待されることから、出荷量の増加を狙う。

2-6	目標指標	【アラの平均単価】 ピンポイントの目標設定だが、よいか。 ヒゲソリダイの例もあるが。	アラは、柏崎独自の品質向上、付加価値化（桶流し一本釣り、神経締めなど）に取り組んでおり、農林水産省のGI登録（地理的表示）を目指しており、また、柏崎市内で取引される魚類の中で一番高い魚種である。漁業者の収益の増加を示す指標にはアラの平均単価による評価が適している。
2-6	目標指標の追加	地域産材の流通拡大に関する指標はないか。	「柏崎市公共建築物等における地域産材利用促進に関する基本方針」において地域産材を用いて整備した施設数を指標にすることもできるが、対象施設数が少ないので指標として望ましくないと考える。
2-7	施策の方向性	【国際交流の推進】 中国に特化しているが、他の国はどうか。	本市が友好都市を締結しているのが中国の二都市であることによるものである。他国の都市との交流を否定するものではないが、友好都市を締結している都市との交流事業を施策の方向性としてほしい。
2-7	目標指標	【市内宿泊者数】 仕事と観光を区別して把握できるか。	宿泊目的の区分は把握できておらず、区別することは難しい。チェックイン時に調査を行う方法が考えられるが、宿泊者及び宿泊施設にとって負担になるため、現時点では困難と考える。
2-7	目標指標の追加	インバウンドに関する目標指標はないか。	本市におけるインバウンドに係る統計データは、持ち合わせておらず、指標設定が困難である。外国人宿泊者に限れば、出身国などのデータは取得できると思われるが、情報は限定的であり、指標にそぐわないと考える。
2-8	目標指標の追加	産業界の脱炭素化が進んだ成果が見れる指標はなにかないか。	脱炭素化に向けて企業が行う手段等を整理するとともに、実際の実績や成果を把握するための方法を研究する必要があるが、過渡期である現状では、妥当な指標設置は困難である。

※その他各課修正箇所

主要施策番号	修正箇所	内 容
2-3	主要施策の方向性	<p>【新産業団地の整備】 「令和6（2024）年度策定の「柏崎市鯨波産業団地整備基本構想」に基づき、本市の新たな産業団地造成を推進します。」を 「令和6（2024）年度策定の「柏崎市鯨波産業団地整備基本構想」に基づき、新たな産業団地造成による本市のさらなる産業の活性化を推進します。」に修正</p>
2-8	現況と課題	<p>下から2行目 「今後は、次世代技術の導入も視野に入れて、既存の公共施設や未利用市有地を有効活用できる方法を検討する必要があります。」を削除</p>
2-8	主要施策の方向性	<p>【脱炭素エネルギーの供給力の向上】の2行目 「・・・蓄電池設備の整備するとともに・・・」を「・・・蓄電池設備を整備するとともに・・・」に修正</p> <p>【原子力発電・海底直流送電の電力供給に向けた取組の推進】の1行目 「・原子力発電や海底直流送電の大量の脱炭素エネルギー大消費地に供給する・・・」を 「・原子力発電や海底直流送電の大量の脱炭素エネルギーを大消費地に供給する・・・」に修正</p>

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
2-1	主要施策の方向性	【人材確保の取組】 東京に出ていった若者にUターンしてもらおうような部分は、方向性でも書けないか。	主要施策の方向性に、ご提案の趣旨を踏まえた内容を追記しました。
2-3	主要施策の方向性	【起業立地の推進】 「多様な業種」の部分で、大卒採用の見込める業種を誘致も必要と考えるが、この呼び水となるような文言を追記できないか。	多様な業種を地域産業にする考えであるところ、企業誘致に絞るシートのコンセプトに無理があると考え、「新たな産業の創出と地域経済の発展」に変更しました。情報産業などを含めて職業選択の幅を広げていくよう全体的に修正しました。
2-6	SDGs	今掲げてもらっているもののほかに、6「水・衛生」、11「持続可能な都市」、13「気候変動」も追加してはどうか。	ご指摘の6、11及び13を追加します。 併せて、担い手問題の解決のため8「働きがい」、林業水産の基盤強化のため9「産業基盤」を追加します。 方向性について、担い手確保に対する取組を中心に追記しました。
2-7	用語	「インバウンド」という言葉が一般的になってきているので、使用してはどうか。	ご提案の趣旨を踏まえた記述としました。

【子育て・健康・福祉分科会】審議経過

3月25日 第2回分科会

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
3-1 (旧3-4)	施策の方向性	【安心して出産できる環境支援】の部分であるが、もっと「安心して産める」ことを強調するとよい。現在、最初の記載が不妊・不育治療の助成だが…	安心して出産できる体制の確保を最初の記載に移しました。
3-3 (旧3-2)	現況と課題	【質問】ロコモティブシンドロームとは？	ロコモティブシンドロームは、第二次健康増進計画にも用語として使用しており、現在策定中の健康増進計画でも使用する予定。「運動器症候群」と言い換えた方がわかりにくさがあるため、用語説明で対応します。
3-7 (旧3-1)	施策の方向性	めざす姿には、「無関心な市民が少なく～」とあるが、これに対応する施策の方向性が無い。	身近な地域に対する関心を促す広報、地域住民同士の支え合い・見守り活動の取組支援という方向性を追記しました。

4月28日 第3回分科会

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
3-1	目標指標	【男性の育児休業…交付件数】 目標値は、上げてもいいのではないかと。	男性育休の取得率の国の2030年の目標が85%に対し、市が実施したR6（2024）年度の「男女共同参画に関する事業所調査」では、柏崎市の育休取得率は60.2%であった。男性育休が浸透してきていると考えるが、中小企業等へさらなる促進を行うため、増加とした。

3-1	目標指標の追加	出会い・結婚にかかる目標指標はないか。	出会い・結婚にかかる指標として、新婚夫婦の住居の費用（家賃、住宅取得、引越し等）を支援する結婚新生活支援補助金の交付件数を追加した。
3-1	目標指標の追加	仕事と子育ての両立という観点でいうと、障がいのある子どもを持つ親の離職率は、どうか。	「障がいのある子どもを持つ親の離職率」については、市が統計データとして把握しておらず、指標として設定が難しい（福祉課確認済み）。代替の指標を検討したが適当と考えられる指標が見当たらないため追加は難しい。
3-2	目標指標の追加	早期療育へのつながりやすさが分かる指標はないか。	・令和7(2025)年7月から開始する5歳児健康診査の受診率を目標指数に追加した。それに伴い主な事務事業に「母子健康診査事業」を追加した。 ・また、もう一つの指標「早期療育の満足割合」の目標値を、実現可能な数値（R11年度に97.0%）へと変更した。
3-3	目標指標の追加	心と体の健康づくりとあるので、心の健康づくりの成果を測る指標を追加してはどうか。	心の健康づくりの成果を測る指標として、「睡眠で休養が取れている人の割合」を新たに追加しました。
3-4	目標指標	【医療・介護ガイドブック…理解度】 目標値が現状値より低いのは、いいのか。	現状値は、令和6年度初めて調査した数字であり、予想より高い値が出たという認識である。また、講座参加者は、新たに話を聞く人を想定しているため、年々理解度が上がるという認識ではないため目標値は変更しない。
3-5	目標指標	【コツコツ貯筋…参加者数】 現状維持の目標値となっているが、上げていくことはできないか。	65歳以上人口は減少が見込まれる中、新規参加者数を維持することで、コツコツ貯筋体操の参加を高めていく目標とした。
3-5	目標指標の追加	地域活動の充実度を測る指標はないか。 例えばくらしのサポートセンターの活動に関連してなど。	地域活動の充実度を測る指標として、「くらしのサポーターによる助け合い活動者数」を新たに追加した。
3-6	目標指標	【外出支援の利用者数】 単なる外出支援ではなく、広く社会参加の指標がなにかないか。	障がいのある人の社会参加は主に余暇やサークル活動等と、就労が想定される。余暇やサークル活動等は「外出支援の利用者数」を指標とできるが、就労（障害者雇用）は、国（公共職業安定所）が事業主体であり、市の事業として指標が設定できないため、新たな指標は追加しない。

3-6	目標指標の追加	行動障害のある方への対応を進めていくとすれば、それに対応する専門スキルを持った人材の育成を指標に入れてはどうか。	行動障害のある人への対応は、専門研修により知識やスキルを身に付け、当事者支援を行っていることから「強度行動障害支援者養成研修の修了者数」を新たに追加した。
3-7	目標指標	【CSW…活動件数】 CSWIは、注釈をいれたほうがよい。	注釈を入力済み。
3-7	目標指標	【民生委員…活動件数】 活動件数の過去からの数値の推移を教えてください。	一人当たりの年間活動件数 R6年度：362件、R5年度：365件、R4年度：388件、 R3年度：354件、R2年度：296件、R元年度：404件

※その他各課修正箇所

主要施策番号	修正箇所	内 容
3-1	現況と課題	<p>4行目 「調査」を「アンケート調査」に修正</p> <p>5行目 「こどもの人数より少ない夫婦が4割を超えています」を「人数より少ないとする回答が4割を超えた結果となっています」に修正</p> <p>7行目 「妊婦健康診査、産後の健診、こどもの健診」を「妊産婦健診、乳幼児健診」に修正</p> <p>下から7行目 「強化」を「更なる充実」に修正</p> <p>下から5行目以降 「 ・仕事と子育てを両立する子育て世帯の多様な保育ニーズに対応するため、保育サービスを充実していくことが大切です。 ・児童数が減少傾向にある一方、就園の低年齢化や途中入園、障がいのあるこどもの受け入れなど、様々な保育ニーズが高まっていることから、教育・保育の量の確保と質の向上が求められています。また、将来的な人材確保のため、保育士の魅力を発信していくことも重要です。 」を資料2のとおり修正</p>

3-1	主要施策の方向性	<p>1行目 「婚活イベントの開催、」を「出会いの場の提供や」に修正</p> <p>2～3行目 「独身男女の出会い」を「独身男女が巡り合う機会」に修正</p> <p>下から6行目以降 「 ・保護者の就労状況やニーズに応じた延長保育、一時預かり、病児保育等の教育・保育サービスを提供し、子育て世帯が仕事と子育てを両立できる環境を整えます。 ・障がいや発達に特性のある子どもなどの受入体制を整備し、インクルーシブ保育を推進します。 ・市町村幼児教育推進リーダー登録者、基幹保育園副主幹を中心に保育士等の育成、訪問支援を図り、教育・保育の質の向上を目指します。あわせて、保育士等の仕事の魅力を発信し、将来的な人材確保につなげます。 」を資料2のとおり修正</p>
3-1	主な事務事業	<p>主要施策の方向性に合せて順序を入替</p> <p>事務事業名の修正と追加 「不妊・不育治療費助成事業」を「不妊治療助成事業」、「母子健康診査事業」を「母子健康診査費」、「児童手当給付事業」を「児童手当給付費」、「地域子育て支援事業」を「地域子育て支援拠点事業」に修正し、「育児休業取得促進事業」を追加</p>
3-1	関連する個別計画	<p>4行目 「柏崎市第2期障がい児福祉計画」を「柏崎市第3期障がい児福祉計画」に修正</p>
3-1	SDGsに関連するゴール	資料2、資料3のとおり修正
3-2	現況と課題	<p>下から3行目 「早期の段階」を「早い段階」に修正</p>

3-2	主要施策の方向性	4行目 「支援対策」を「支援策」に修正 6～8行目 「 ・ひとり親家庭の自立を促進するため、児童扶養手当等の経済的支援をはじめ、親子の生活支援、就労支援、こどもの学習支援など様々な支援対策の充実とあわせ、家庭で育つこどもが将来の希望を叶えられるよう支援を行います。 」を資料2のとおり修正
3-2	主な事務事業	事務事業名の修正 「児童虐待防止事業」を「子どもの虐待防止事業」、「児童扶養手当給付事業」を「児童扶養手当給付費」、「母子健康診査事業」を「母子健康診査費」に修正
3-2	関連する個別計画	2行目 「柏崎市第2期障がい児福祉計画」を「柏崎市第3期障がい児福祉計画」に修正
3-2	SDGsに関連するゴール	資料2、資料3のとおり修正
3-3	現況と課題	5行目 「壮年期」を「青壮年期」に修正し、「骨粗しょう症予防」の次に「や筋力・体力向上」を追加
3-4	目標指標	【認定看護師・特定行為看護師数】を【市内病院に勤務する認定看護師・特定行為看護師数】に、目標指標名を修正
3-7	現況と課題	3～4行目 「このような現状から、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）や民生委員の果たす役割がますます重要になっています。」を追加

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
3-1	現況と課題ほか	日常的な相談しやすい環境整備の記載は必要ないか。	ご意見を踏まえ、以下3点(●)修正 ●【現況と課題】に次の文言を追記 「子育て期全般わたる相談支援には、子どもの成長・発達の段階に応じて、変化する子育てニーズに対応していくことがもとめられています。」 ●【主要施策の方向性】 ・見出しを次のとおり修正 【安心して出産・子育てできる環境の充実】 ・方向性に新たな文言は追記せず、既存の「妊娠期から子育て期までの～育児不安の軽減を目指します。」の一文で読み込むこととしたい。 ●主な事務事業 「産後ケア事業」を削除し「こども家庭センター利用者支援事業」を追記 ◆目標指標の修正 乳幼児健診アンケート結果のR6確定に伴い、3-1シートの現状値及び目標値(R11)並びに3-1目標指標確認表の各年度目標値を修正。
3-7	現況と課題ほか	民生委員などの担い手不足の現状等は記載の必要はないか。	以下4点の修正 ●【現況と課題】 次の文言の修正及び追記 ・CSW(コミュニティソーシャルワーカー)→コミュニティソーシャルワーカー に修正 ・民生委員については、活動の負担感等から、なり手不足が問題となっています。 を追記 ●【目標指標】 次の文言の修正 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)→コミュニティソーシャルワーカー に修正 ●【用語説明】 次の文言の修正 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)→コミュニティソーシャルワーカー に修正
(全体)	SDGsゴール	No17のゴールは、どのような基準で各施策に掲げていくのか。前回は多くの主要施策に掲げてあったが。	「17 パートナリシップで目標を達成しよう」の項目については、グローバルなパートナーシップだけでなく、官民や市民社会のパートナーシップも含まれています。その視点で主要施策シートを点検し、追加など対応します。

【教育・スポーツ・文化分科会】審議経過

3月26日 第2回分科会

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
4-1、4-2	めざす姿	4-1は「子供たち」、4-2は「子ども達」と表現が違っているので、統一したほうが良い。	「子どもたち」で統一しました。
4-2	施策の方向性	【教育支援センター（適応指導教室）の充実】の記載の中で民間団体とあるが、具体的にはどこか？具体的に挙げなければ記載を検討したほうが良い。	民間団体とは、craft map、NPO法人あそびだちiLabo、わくわくジョブ柏崎等です。計画の記載については、変更ありません。
4-4	現況と課題	「シビックプライド」とは？	わかりやすい表現に修正しました。
4-4	施策の方向性	【ライフステージに応じたスポーツの推進】について、現在スポーツ推進員が活躍しているが、知名度が低いので、記載に加えたほうが良いのではないか。	市と連携して取組を進める柏崎市スポーツ推進委員などを追記しました。

※その他各課修正箇所

主要施策番号	修正箇所	内容
4-2	現況と課題及び主要施策の方向性	【望ましい教育環境の確保】に部活動の地域移行についての記載を、追記しました。
4-3	現況と課題 下から3行目	「公民館」を「市民プラザ」に修正しました。
4-5	主要施策の方向性	【歴史・文化資産の保存と活用】中の綾子舞の部分及び【歴史・文化の発信】の記載を青字のとおり修正しました。

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
(基本方針)	-	柏崎ならではの尖ったもの、特に力をいれたい部分が示されるとよい。例えば飯田市は「地育力」。教育大綱の「アナログの力」の充実を活かせるか。	本市の特色や特に力を入れていく目標等を総合計画に直接記述することで、他の自治体との差別化はもちろんのこと、市民と目標を共有していくことは大切な視点です。現時点において方向性等の修正は考えておりませんが、「主な事務事業」に記載した、家庭、地域と協働し特色ある教育活動を行う「学校教育活動推進事業」や小中学生の思考力、判断力、表現力や知識・技能を活用する力を伸ばし、学力向上を図る「学力向上推進プロジェクト事業」は本市ならではの特徴的な取組であり、個別事業の中で取組を進めていきます。 また、「アナログ力の充実」については、教育大綱に掲げる本市教育の目指すべき姿でありますので、学校教育現場において、常にその視点をもって取組をしっかりと進めていきたいと考えております。
4-1	目標指標	【道徳に関する望ましい回答の割合】残り5%に対して、何をしてどうなったのかの指標が大事なのではないか。	ご指摘のとおり、望ましい回答でなかった児童生徒への指導も大切です。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して「思わない」と回答する児童生徒へは、道徳科の時間はもちろん全教育活動を通じて、いじめられている立場の気持ちになって考えること、一人一人のよさや多様性を認め合えるような指導を継続的に行います。また、「人が困っているときは、進んで助けていますか」に対して「助けていない」と回答する児童生徒へは、道徳的判断力を身に付けさせるとともに、道徳で学んだことが実践に結ぶ体験を取り入れるなど、道徳性（特に道徳的実践意欲と態度）を高める指導を行い、目標指標の達成につなげていきます。※主要施策シート、指標確認票の修正はなし。
4-2	現況と課題、施策の方向性	学校の統合等で学校と地域の距離が遠くなっている地域もある。地域と学校の連携の視点は必要ではないか。	地域と学校の連携は大切な視点であると認識しており、「4-1 生きる力を育む学校教育の推進」の主要施策の方針のなかで「学校・家庭・地域の協働活動の推進」を掲げ、学校・地域・家庭が連携した教育活動を推進することとしております。
4-2	目標指標	【「学校に行くのが楽しい」と感じる児童・生徒の割合】4-1の【道徳一】同様、楽しくないと感じている児童・生徒に対し、何をしてどうなったのかの指標が大事なのではないか。	「学校に行くのが楽しい」と感じていない児童生徒に対しては、一人一人の心の悩みに寄り添いながら対応するとともに、児童生徒が安心して過ごせる学級・学年づくりを通して、自己存在感を感じ、共感的な人間関係を深めていける教育環境を構築することで、目標指標の達成につなげていきます。※主要施策シート、指標確認票の修正はなし。

4-3	目標指標	<p>【図書館貸出利用者登録者数（累計）の人口割合】 郊外では、借りて読む方以外に買って読むという方もいる。様々な手段を含め、市民の読書の指標はないか。</p>	<p>読書の方法や書籍の入手経路が多様化し、読書の在り方が変容しつつある現状において、図書館以外も含めた市民の読書の全容を把握するには十分ではないかもしれませんが、貸出利用登録者は一定の指標として捉えることが可能と考えます。図書館では移動図書館など周辺地域の方からも貸出利用できるよう配慮した事業も引き続き実施します。</p> <p>なお、御説明させていただいたとおり、図書館利用登録者の状況をより正確に把握するため、未更新者の除籍処理を実施したことから、当該指標の令和6（2024）年度実績値が約5ポイント下がっており、各年度の目標値をそれぞれ5ポイント下方修正し現状に合わせ再設定しました。</p>
4-4	目標指標	<p>【1人当たりの市、…参加回数】 youtube等をみながら家庭でフィットネスを行っている人もいます。スポーツの推進の成果を市等のイベントに限らず、「一日〇〇分以上スポーツしている人の割合」などではどうか。</p>	<p>柏崎市国民健康保険第3期保険事業実施計画（データヘルス計画）第4期特定健康診査等実施計画中の短期的目標「#6運動習慣のある者の割合の増加」に準じた目標とした。（対象者：40～74歳の国民健康保険加入者）</p> <p>目標指標名 「1人当たりの市、柏崎市スポーツ協会、体育施設指定管理者主催スポーツイベントの年間参加回数（市民大運動会を除く）」 ↓ 「特定健診質問票で1回30分以上の運動を週2回以上していると回答した者の割合」</p> <p>現状値 0.61（R5）→40.4%（R5）</p> <p>目標値 0.63（R8）→42.3%（R8） 0.64（R9）→42.6%（R9） 0.65（R10）→42.9%（R10） 0.65（R11）→43.2%（R11）</p>
4-4	目標指標	<p>【全国大会以上の個人・団体の入賞回数】 ・全国大会の是非が議論されている。小中学校において結果重視だとネガティブな部分も聞く。別の指標はないか。 ・競技スポーツのみか。</p>	<p>目標指標を高校生以上における全国大会以上の個人・団体の入賞回数へ修正し、現状値、目標値を以下のとおりに修正します。</p> <p>現状値：33回（R5）→26回（R6） 目標値：36回 →31回</p>
4-4	目標指標	<p>【海外チームの合宿数】 海外チームに限らなくてもよいのではないか。</p>	<p>「国内外からの水球チームの合宿数」に修正します。併せて、現状値、目標値を以下のとおりに修正します。</p> <p>現状地：6団体（R6）→8団体（R6） 目標値：7団体 →11団体</p>

※その他各課修正箇所

主要施策番号	修正箇所	内 容
4-1	現況と課題	語尾の修正 下から7行目 「求められています。」を「期待されています。」に修正 下から5行目 「求められています。」を「必要とされています。」に修正 下から3行目 「求められています。」を「望まれています。」に修正
4-1	主要施策の方向性	【豊かな人間性をはぐくむ教育の推進】 「…人権教育、同和教育を充実させます。」を「…人権教育、同和教育をより一層推進します。」に修正 【体力の向上とより良い生活習慣の形成に向けた教育の推進】 「…定着を育成します。」を「…定着を支援します。」に修正 【教職員の専門性と指導力の向上】 「…教職員研修を充実させます。」を「…ニーズに応じた多様な教職員研修を実施します。」に修正
4-2	現況と課題	1行目から2行目 「学習方法の制限、課外活動」を「学習形態の制限、学習活動」に修正
4-2	目標指標	【30年以上経過した市内小・中学校の大規模改修工事実施割合】 目標値「72.7%」を整数に丸め、「73%」に修正
4-3	現況と課題	上から6行目 「子どもや若者の健やかな成長には、多様な学びを体験できる活動を継続し充実させていくことが必要です。」を、「子どもや若者が、多様な学びを体験できる環境を充実させていくことが必要です。」に修正
4-3	主要施策の方向性	【子どもや若者の健やかな成長に向けた支援の充実】 「子どもや若者が健やかに成長し、地域への愛着心を育てていくため、関係団体が主体的に行う研修会などを支援します。」を、「子どもや若者が、地域への愛着心を育てていくため、関係団体が主体的に行う研修会などを支援します。」に修正
4-4	現況と課題	下から4行目 「多くの海外水球チームの合宿の受入れ」を「水球によるまちづくりを推進するために、多くの国内外水球チームの合宿の受入れ」に修正

4-4	主要施策の方向性	【競技力の向上に向けた取組の推進】 2行目 「トップアスリートの育成を引き続き行うとともに、スポーツを活用した地域の魅力発信、地域交流に取り組みます」を「トップアスリートを輩出することで地域の盛り上がりを創出して、住民の誇りや愛着につなげます」に修正
4-4	主要施策の方向性	【スポーツによる交流人口の拡大、地域の魅力発信、地域活性化】 「・国内外からの水球合宿の受入れや国際競技大会を開催を地域との交流につなげ、地域の国際化、世界に向けた地域の魅力発信、地域活性化の実現に向けて関係団体との協働事業として取り組みます。」 ↓ 【水球によるまちづくりの推進】 「・国内外からの水球チームの合宿を受入れることや国際競技大会を開催し、関係団体と協働して水球によるまちづくりに取り組みます。」に修正
4-5	めざす姿	1行目 「主体的に取り組み、」の次に「市民自らが」を追加
4-5	現況と課題	4行目 「著しい」を「懸念される」に修正

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
4-2	現況と課題	小規模化への対応について、地域連携など人数が少ないからこそできることを検討していくような記載を加えてはどうか。	柏崎市は、「本市の将来を担う子ども達へ望ましい教育環境提供するためには、一定の児童生徒数の確保が必要」との考えのもと、学区再編というかたちで教育環境の整備に取り組んでおり、主要施策の方向性として記載しているものであります。ご意見にあります小規模校ならではの特色を活かすことについては、大切な視点であります。従って、直接「主要施策の方向性」のなかで追記はいたしません。学校統合によってご指摘の点がおろそかにならぬよう、地域と学校のつながりや、それぞれの地域の実情に応じ、個別に適切に対応していきたいと考えております。
4-3	主要施策の方向性	【子どもや若者の健やかな成長に向けた支援の充実】 見出しの「健やかな」は内容修正に合わせて削ってはどうか。	【子どもや若者に向けた支援の充実】に修正します。

【住民自治・行財政分科会】審議経過

3月28日 第2回分科会

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
5-1	施策の方向性	【人権を尊重する教育と人権啓発の推進】 ・「様々な人権問題」とあるが、例示できないか。	「偏見や差別など」という例示を追記しました
5-2	施策の方向性	【誰もが働きやすい職場環境の整備】 ・「男性の家事・育児への参加」と男性だけに限定した記載となっているが、夫婦両方の役割であり違和感がある。	記載が「家庭内」の役割分担の平準化となっており、【施策の方向性】である職場環境の整備と合わないため、該当部分を削除しました。
5-3	現況と課題、施策の方向性	【地域活動支援の充実】 ・地域活動を担う町内会の記述を入れるべきではないか。 ・記載してある内容は、誰が（実施主体）、誰に向かって行う支援なのかわからない。	・町内会の記載を追記しました。 ・実施主体など分かるように修正しました。
5-4	施策の方向性	【大学の魅力向上及び連携・協働の強化】 ・「市内企業等への就職者等が少ない」という現況と課題に対する打ち手の記載があった方が良い。	施策の方向性を修正しました。

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応
5-1	目標指標	【核兵器廃絶…市民参加人数】 ・毎年度25人増加というのは、目標値が低いのではないか。	目標指標確認表の算出方法に記載したとおり、目標指標を形成する各々の取組について、近年は減少傾向にあるものが占めている状況である。これを新規事業等でカバーし、増加にシフトしていく予定ではあるものの、大きな上乗せは期待できないことから、25人を最小単位として設定したもの。
5-1	目標指標	【拉致問題…参加校数】 できれば、全学校で聞いてほしいが、割合で示せないか。ちなみに、60校は100パーセントか。	平成30年度から市内中学生を対象とした講演会を年3～4校で実施しており、令和6年度で中学校の二巡目が終了した。令和7年度からは市内小学校も含め実施する。7年度が8校（小4・中4）、8年度から11年度までの4年間で毎年7校（小4・中3）で実施すると延べ実施校数は60校となる。中学校は既に二巡しており、全ての学校で実施済み（100%達成）であるが、小学校は一巡するのが5年後の予定であり、令和11年度に100%を達成することになる。
5-1	目標指標の追加	2指標ともに、参加した方の変化が見える指標を追加してはどうか。例えば、理解できた割合、共感した割合など	平和に関する展示や拉致問題啓発・人権講演会などでアンケートを実施した場合、「理解できた」「共感した」などの実施成果を問う質問に対し、肯定的な回答が多く寄せられることが想定され、結果として初年度からかなりの高数値を記録し高止まってしまう可能性があることと、アンケートの回答が個人の感覚に左右される要素をはらんでいることから、目標指数としてはふさわしくないと考える。
5-1	目標指標の追加	多文化共生に関する指標はないか。	事業の連携先である（公財）柏崎地域国際化協会と協議したが、多文化共生に関する指標として適切なものが存在しないため、設定しない。
5-1	目標指標の追加	新しい人権（SNSなど）に対する指標を入れてはどうか。	現在、インターネットやSNS等に係る人権に関する調査やアンケートは行っていない。そのことに関しては、教育現場において実施しているメディア・リテラシーに関する取組が中心となっている状況であるが、教育分野との統合が取られていない状況であり、現時点での指標化はふさわしくないと考える。
5-2	目標指標	【市附属機関…参画割合】 人数の併記もお願いしたい。	附属機関の委員数の見直し等もあるため、目標指標において人数を併記することはしない。ただし、進行管理において割合と人数を併記するかどうかは、他の目標指標も含め整理することとしたい。
5-2	目標指標の追加	市民意識調査の指標は、5年に1度であるが、アウトカム指標として掲載してはどうか。	市民意識調査は柏崎市男女共同参画基本計画の基礎資料とするため5年ごとに実施しており、令和11年度が実施年に当たることから、目標指標として追加する。

5-2	目標指標の追加	市の女性管理職の割合はどうか。	性別に関わらず適性や能力での評価により管理職に登用されることが適切であることから、目標指標とはしないが、主要施策の方向性として「市の女性管理職の登用を進める」と記載していることから、進行管理において参考値として割合を示すなどしていく。
5-3	目標指標	【コミュニティセンター利用者数】 現況と課題や施策の方向性の記載内容と利用者増加が合わない。成果につながらないのではないかと。	目標指標確認票の成果欄に、支援により利用者が増加することで事業が活発となり、地域の活性化につながる旨を追記することで、主要施策シートとの整合を図る。次世代を担う人材の発掘・確保のため、地域活動に興味を持つ利用者の母集団形成に努め、成果につなげていく。
5-3	目標指標	【地域おこし協力隊員数】 主要施策として力を入れていくのであれば、目標は高くしたほうがよい。	県内の他市町村に比べて隊員数が少ないことは事実であるが、第五次総合計画後期基本計画の進行管理の状況（R7年度末の目標12人に対して、R6年度末の実績は10人）から毎年度1人増が妥当な数値であると考え。指標は毎年度1人増であるが「1名以上増やす」ことを目標に取り組んでいく。
5-4	目標指標	【二大学の定員充足率】 目標値が100%となっているが、高すぎないか。	大学の認知度や魅力度を高め、市内外からの進学を促進することが施策の主要な方向性であることから、施策の進行状況をよりの確に把握するため、これまで用いてきた「二大学の定員充足率」から、「市内2大学入学者の定員充足率」へと見直し、施策の成果をより直接的に評価できる目標指標としたい。
5-4	目標指標	【柏崎ファンクラブ公式LINEの有効友だち数】 もう少し目標値を高くしてもよい。	毎年度500人ずつの増加から、考えられる最大値として700人ずつの増加に上方修正する。
5-4	目標指標の追加	二大学の卒業生の地元就職者に関する指標も、めざす姿に鑑みると必要ではないか。	人材確保に向けた取組を評価する指標として、「市内2大学卒業生の地元就職率」を追加したい。 「産業・エネルギー」2-1・雇用環境の充実と就労支援の数値を再掲する。
5-5	目標指標	【市公式LINEの友だち登録者数】 もう少し目標値を高くしてもよい。	直近の登録者状況、今後の機能拡充による利便性の向上などを踏まえ、毎年度1,000人ずつの増加に上方修正する。（指標の算出方法も一部修正する。）
5-5	目標指標	【各種証明書…申請件数】 実数よりは、割合があがっていくほうがよいのではないかと。	コンビニ交付（住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書、所得証明書、戸籍証明書（全部事項・個人事項）、戸籍附表の写し）に限定した割合を目標値として設定する。

※その他各課修正箇所

主要施策番号	修正箇所	内 容
5-2	現況と課題	1行目 「社会全体において「男性が優遇されている」と感じている人の割合は、全体で71.9%、女性においては78.0%と高い結果であり、ジェンダーギャップを解消するための取り組みが求められています」を「社会全体として男女が平等であると思う人の割合」は12.8%と低い状況であり、さらなるジェンダー平等の推進が求められています」に修正
5-4	現況と課題	3行目 「令和5(2023)年度」を「令和6(2024)年度」に修正 6行目 「本市出身学生や地元出身の社会人」を「本市出身の学生や社会人」に修正 下から4行目 「2大学」を「市内2大学」に修正
5-4	主要施策の方向性	【地域の活性化を創出するシティセールスの強化】 下から2行目 「寄附者と本市の関係性の定着化を図るため戦略的に取り組みます」を「寄附者が本市とつながりを持つ機会を創出します」に修正 【大学の魅力の向上及び連携・協働の強化】 下から5行目 「市内二大学」を「市内2大学」に修正
5-6	主要施策の方向性	【財政基盤の強化】 下から2行目 「債券運用」を「債券」に修正 【公共施設の適切な管理】 下から1行目 「民間等による利活用」を「民間等への売却・貸付」に修正

主要施策番号	検討箇所	委員意見	対応欄
5-1	主な事務事業	人口減少が進む中で唯一増加傾向にあるのが、外国人在住者なので、対応する事務事業を掲載してはどうか。	事務事業に「国際化に対応したまちづくり事業」を追記します。
5-1、5-2	SDGs	SDGs目標1【貧困】が5-1にはなく、5-2にはある意図を確認したい。	5-1にもSDGs目標1【貧困】を追加します。
5-4	目標指標	【市内2大学卒業生の地元就職率】市内2大学卒業生の地元就職率の目標が10.3%から10.5%の増加というのは控え目の設定と思う。もう少し高く設定してもよいのではないか。	令和6年度の現状値が7.6%であり、過去5年減少傾向における一番低い値となった。減少傾向の脱却を目指し、当面の間、目標値を過去5年間（R元～R5）の平均値10.9%としたい。
5-5	目標指標	【各種証明書の～コンビニ交付の割合】コンビニ交付は今後、加速すると思われる。目標値を高く設定してよいのではないか。	地方公共団体情報システム機構が公表している令和6年3月実績の全国の市区町村窓口時間外のコンビニ交付割合は49.3%となっていることを踏まえ、当市においても全国水準を目指すこととし、目標値を50.0%に修正します。